青根地域の“緑の休暇村エリア”のリニューアルに関する
サウンディング型市場調査　募集要項

１　サウンディング型市場調査について

「サウンディング型市場調査」（以下「調査」という。）とは、市が予定している事業の検討に当たって、民間事業者等から広く意見・提案を求め、市場性の有無や民間のアイデア等を把握するために実施するものです。

２　目的

自然豊かな中山間地域に位置している本市（以下「市」という。）の青根地域は、少子高齢化・人口減少などの課題を抱えていることから、地域の活性化に向けた取組について検討しています。

その中で青根地域に位置する緑の休暇村エリアの公共施設（緑の休暇村センター、いやしの湯、津久井合唱館）では、中山間地域振興モデル地区の指定に基づく事業の一環として、公共施設のリニューアルについて検討しています。

そこで、民間事業者等が持つ優れたアイデアやノウハウを活かした公民連携による効果的なリニューアルと施設運営について幅広く、ご意見・ご提案をいただきたく調査を実施します。

今回の調査は、緑の休暇村エリアのリニューアルに向けた検討を進めていく上での参考にさせていただくほか、リニューアル後の施設を官民連携によって運営していくに当たり、民間パートナーを求めていく際の事業手法の検討などにも活用させていただきます。

３　対象施設とリニューアルの見通し

対象となる施設は、緑の休暇村センター、いやしの湯、津久井合唱館の３施設です。各施設の現時点におけるリニューアルの見通しは、以下のとおりです。

①緑の休暇村センター・・・現況施設を撤去したうえで、河川の氾濫によるリスクの低い近隣の土地への移転（新設整備）を検討しています。宿泊施設の建物用途を引き継ぐ見通しですが、それ以外に付加すべき機能等については検討中です。新たな施設の供用開始は令和１４年度を目標としていますが、今後の検討状況に応じて変更する可能性があります。

②いやしの湯・・・現在は改修工事等を進めており（予定期間：令和８年８月３１日まで）、工事完了後温泉施設としての営業を再開する見通しです。

③津久井合唱館・・・有効な活用策が見いだせなければ撤去することを検討しています。

【参考：各施設の現況】

	緑の休暇村センター	いやしの湯	津久井合唱館
敷地面積(㎡)	12,434	4,003.78	212
延床面積(㎡)	640.75	1,007.32	105.24
用途地域	なし	なし	なし
開所日	昭和 55 年 6 月	平成 17 年 5 月	平成 6 年 7 月
構造	鉄骨造 (S 造)2 階建	鉄筋コンクリート造 (RC 造) 1 階建	鉄骨造 (S 造) 1 階建
建ぺい・容積率 (%)	50・100	50・100	50・100
利用者数（Ｒ６年度実績）	454 人	83,016 人	86 人

※　洪水浸水想定区域・家屋倒壊等氾濫想定区域及び土砂災害警戒区域（土石流）内に立地

４　参加条件

次のいずれかに該当する場合は、対話に参加することはできません。

ア　参加する法人等（法人又は団体をいう。）が、相模原市暴力団排除条例（平成２３年相模原市条例第３１号。以下「市暴力団排除条例」という。）第２条第５号に規定する暴力団経営支配法人等と認められる者

イ　神奈川県暴力団排除条例（平成２２年神奈川県条例第７５号。以下「県暴力団排除条例」という。）第２３条第１項に違反したと認められる者

ウ　県暴力団排除条例第２３条第２項に違反したと認められる者

エ　市暴力団排除条例第７条に規定する暴力団員等と密接な関係を有すると認められる者、又は参加する者の支店若しくは営業所（常時業務の契約を締結する事務所をいう。）の代表者が、暴力団員等と密接な関係を有すると認められる者

５　スケジュール・申請等の流れ

（１）実施スケジュール

内　　容	実　施　時　期
募集要項の公表	令和８年６月２３日（火）
事前説明会・現地見学会の開催	令和８年７月１６日（木）～１８日（土） ※　各日２回開催（①１０：００～１２：００または ②１４：００～１５：００）
対話参加の申込み	公表日から令和８年７月２３日（木）まで
資料提出	対話実施日の５営業日前まで
対話の実施	令和８年８月１９日（水）～３１日（月）
結果の公表	令和８年１０月（予定）

（２）対話までの流れ

ア　事前説明会・現地見学会の開催

事業概要及び対話の趣旨について、事前の説明会及び現地見学会を開催いたします。
参加を希望される方は、別紙１「事前説明会・現地見学会参加申込書」に必要事項を記載しＥメールに添付の上、以下期日までに下記申込先へお申し込みください。
※　事前説明会への出席は対話参加の必須条件ではありません。
※　Ｅメールの件名は「【事前説明会申込】（団体名）」としてください。
【実施日時】令和８年７月１６日（木）～１８日（土）
※　各日２回開催（①１０：００～１２：００または②１４：００～１５：００）
【場　　所】津久井合唱館（やまびこホール）（相模原市緑区青根８５１番地）
※　現地ではなくオンラインや市庁舎（緑区合同庁舎等）での対応も可能です。現地以外で説明会をご希望の場合は別紙１内【任意項目】欄に希望場所の記載をお願いいたします。
【申込期限】令和８年７月１０日（金）１３時まで
【申 込 先】相模原市緑区役所地域振興課
（g-chiikishinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp）

イ　対話参加の申込み
別紙２「エントリーシート」に必要事項を記載しＥメールに添付の上、申込期間中に上記申込先へお申込みください。
※　Ｅメールの件名は「【対話申込】（団体名）」としてください。
【申込期間】公表日から令和８年７月２３日（木）１７時まで

ウ　資料提出
別紙３「ヒアリングシート」に必要事項を記載しＥメールに添付の上、提出期間中に上記申込先へご提出ください。
※　Ｅメールの件名は「【資料提出】（団体名）」としてください。
【提出期間】対話実施日の５営業日前までとします。

エ　対話の実施
知的財産保護の観点から、対話は個別に実施いたします。
【日　　時】令和８年８月１９日（水）～３１日（月）までの期間で、３０分から１時間程度。状況により追加対話も行います。（対話参加の申込み後、別途日時の調整をいたします。）
【場　　所】市庁舎（緑区合同庁舎等）の会議室を予定しております。
【実施方法・対話内容等】「６　対話内容」以降をご確認ください。

オ　その他
・　対話参加の申込が多数あった場合は、本調査を効率的に行うため、対話実施日や対話時間について調整させていただく場合があります。
・　オンラインによる対話を希望される場合は申込時にお伝えください。

６　対話内容

主に次の項目について、自らが事業の主体等として参加することを前提に、実現可能なご意見・ご提案をお願いいたします。

対話の際には、事前にご提出いただいた別紙３「ヒアリングシート」の回答に沿って、ご説

明・ご提案をお願いします。その後、市から質問、または参加者からの質問に対して回答させていただく形式で対話を実施します。

※　一部、お答えいただけない項目・内容があっても構いません。

【主な対話項目】

項目	主な対話項目
緑の休暇村センター	・現況施設を撤去し、宿泊機能を有する新たな施設を河川の氾濫によるリスクの低い近隣の土地へ市が整備（移転）※1することを前提に、施設をどのように運営することができるか、宿泊機能以外にどのような機能を付加すべきか（付加機能をどのように活用するか）、などについてお考えをお聞かせください。 ※１：施設の規模は現況と同等程度を見込んでいます。移転先や施設整備計画については、本サウンディング型市場調査や地元との対話等を踏まえて検討していきます。
いやしの湯	・現在の改修工事以降は、当面大きな改修を見込まず温泉施設として営業を継続することを前提に、どのような施設運営ができるか、緑の休暇村センター等との相乗効果を図ることができるか、などについてお考えをお聞かせください。
津久井合唱館	・既存施設を撤去せず活用する提案をする場合、どのような活用ができるかお考えをお聞かせください。
運営手法・体制	・上記３つの公共施設を運営する方法として、貴社が望ましいと考える手法や枠組みについてお考えをお聞かせください。 ・現施設の指定管理を行っている地元団体※2等と、今後どのような形で連携が考えられるかについて、お考えをお聞かせください。（例：地元団体とのJVや地元団体職員の雇用など） ※２：現在３つの公共施設は地元住民等で構成する「一般社団法人青根振興協議会」が指定管理を行っていますが、令和１０年度までの指定管理期間以降の運営手法、運営主体は未定であり、本サウンディング型市場調査や地元との対話等を踏まえて検討していきます。
地域との連携や波及効果	・地元雇用や地産品の消費など、地域への波及効果についてお考えをお聞かせください。 ・同エリア周辺には民間キャンプ場や宿泊施設などもあります。３つの公共施設の運営だけでなく、地域と連携した事業が考えられる場合は、その内容についてお考えをお聞かせください。
その他・市への要望	・そのほか貴社の自由な発想のもと、上記以外のことについても提案があればお考えをお聞かせください。 ・官民連携による有意義な公共施設活用の観点から、対象施設に関する市への要望がありましたら記載してください。

７　留意事項について

（１）対話及び対話内容の取扱いについて

対話への参加実績は、将来的に実施を想定する事業者公募における評価の対象となりません。

対話内容は、今後の検討の参考とさせていただきます。但し、双方の発言とも、あくまでも

対話時点での想定のものとし、何らの約束をするものではないことをご了承ください。

（２）対話に関する費用の負担について

対話参加に要する費用は、提案者の負担とします。

（３）追加対話への協力

対話実施後に追加対話（書面による対話を含む。）等を実施させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

（４）実施結果の公表について

対話の実施結果については、概要をホームページ等で公表いたします。

公表にあたっては、提案者の名称及び知的財産に係る内容は原則として公表いたしません。

また、公表内容を提案者に対し事前に確認を行います。

※　「相模原市情報公開条例」その他関係法令の規定に従い、提案の内容については情報公開の対象となる場合があります。

８　参考：青根地域周辺の状況

（１）アクセス（周辺図）

ア　バスの場合

・ＪＲ横浜線・京王相模原線「橋本駅」、北口１番乗り場から神奈中バス「三ヶ木」行き、終点「三ヶ木」で乗り換え、３番乗り場から「月夜野」行き「東野」下車

（平日は三ケ木発月夜野行（三５６）、東野発三ケ木行（三５６）がいずれも１便ずつの運行となっており、土日は路線バスの運行はありません。ご注意ください）

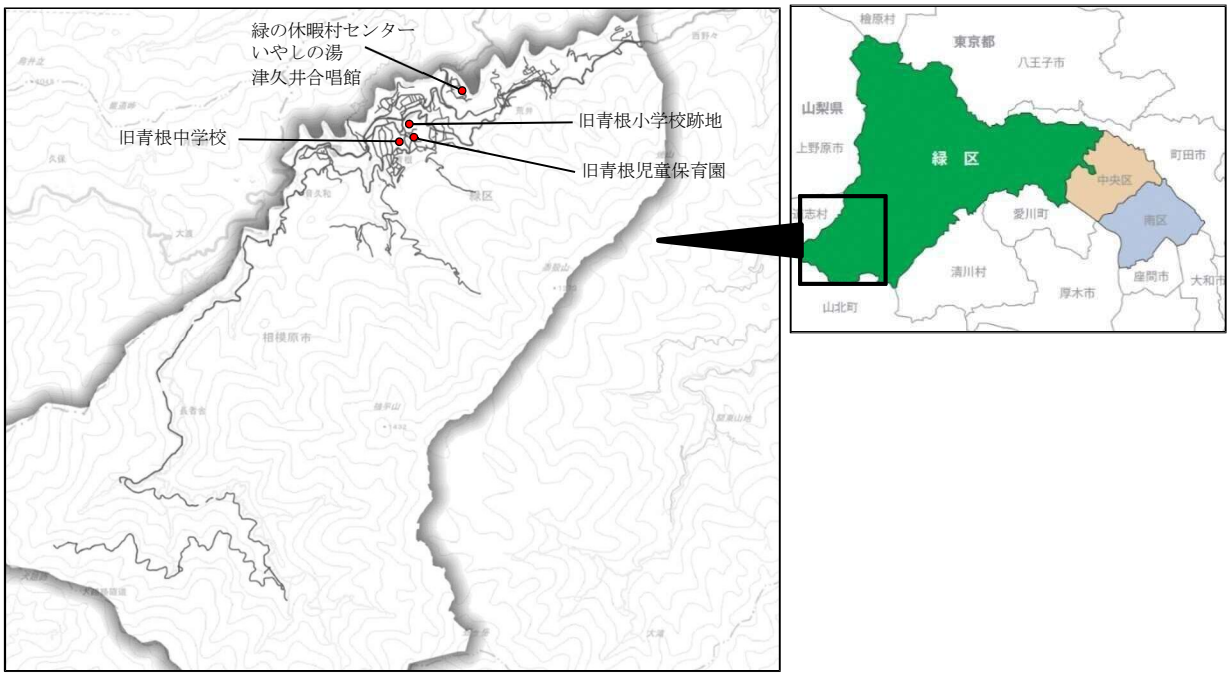
・ＪＲ中央本線「藤野駅」、神奈中バス「やまなみ温泉」、「奥牧野」行きで「やまなみ温泉」下車、事前予約制の乗合タクシー（菅井地区乗合タクシー（予約先：YM交通㈱ 電話０４２-７８０-０７７７））にて「東野」下車

イ　車の場合

・中央自動車道、相模湖ＩＣから国道２０号「日連入口」交差点を左折して約１６キロ

相模原市緑区橋本より国道４１３号で約２５キロ

圏央道相模原ＩＣから国道４１２号経由、「青山」交差点を左折し、国道４１３号で山中湖方面へ約２０キロ



（２）青根地域の情報

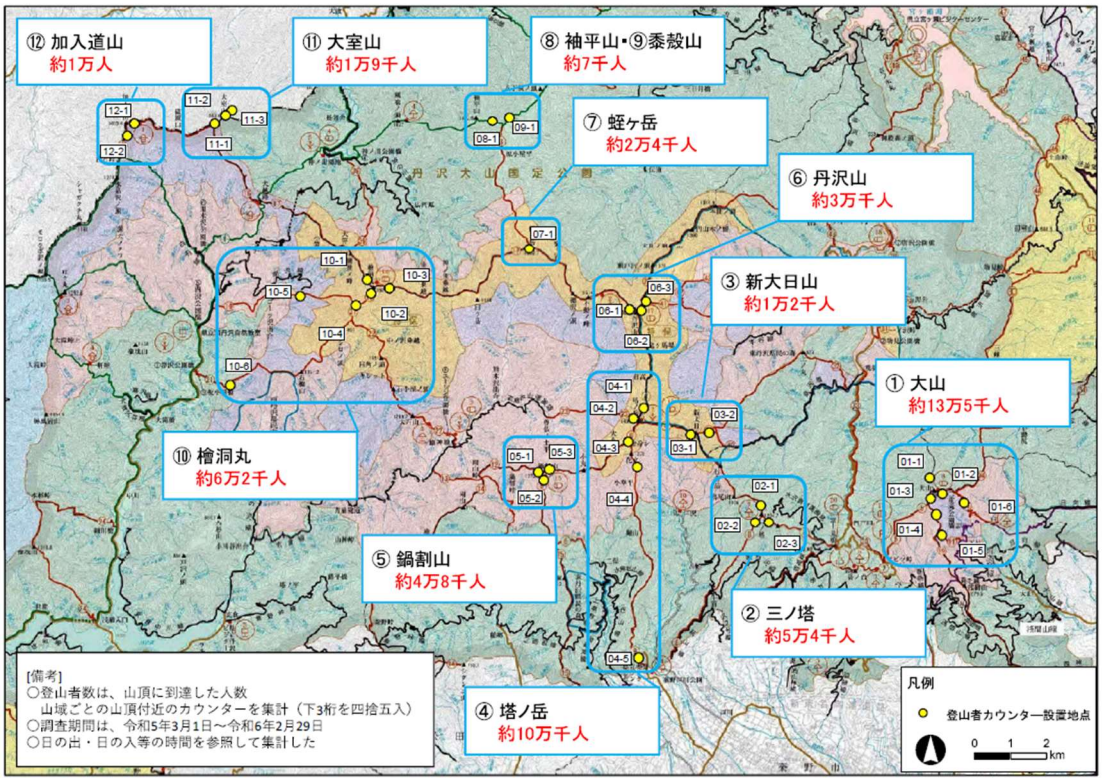
青根地域は山梨県との県境に位置し、道志川や奥相模湖、蛭ヶ岳や大室山といった豊かな自然環境に囲まれた地域です。また、地域内には自然環境を活かしたキャンプ場や温泉施設等があり、国道４１３号（通称：道志みち）には観光客やバイカーのほか、本市緑区が東京オリンピック自転車ロードレース競技のコースとなったことからサイクリストも多く訪れています。

〔参考〕青根地域の概要

青根地域の人口	人口：４１３人（男性：２０３人、女性：２１０人） 世帯数：１７８世帯（令和８年３月時点 推計人口）
周辺施設等	・ 民営キャンプ場 ・ 道志川、神之川、奥相模湖（道志ダム）、エビラ沢の滝 ・ 青根防空監視哨 ・ 青根諏訪神社、長昌寺 ・ 特別養護老人ホーム　青根苑 ・ 登山、散策路（蛭ヶ岳（県内最高峰）、丹沢山、塔ノ岳、檜洞山 等）
祭事・イベント	・ 青根諏訪神社祭礼（８月）
その他・ 地域団体	地域の振興を促進し、地域住民の生活の安定向上と福利増進をはかることを目的とした「青根地域振興協議会」などの様々な地域団体が活動しています。

〔参考〕丹沢大山山域における登山者数実測調査結果(調査結果：令和５年３月～令和６年２月)

出所：神奈川県



９　問い合わせ先

連 絡 先 ： 相模原市緑区役所地域振興課【担当：齋藤・谷口・井口】
所 在 地 ： 相模原市緑区西橋本５－３－２１
電話番号 ： ０４２－７７５－８８０１
Ｆ Ａ Ｘ ： ０４２－７００－７００２
E-mail ： g-chiikishinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp